

県外の人に関わる「場面」ごとの 潜在的な関係人口の試算

(注) 潜在的な関係人口の大まかな規模感を把握するためのものであり、
厳密な試算ではないことに留意

場面1 地域の課題解決・活性化

潜在的な関係人口の規模感：およそ**630万人**程度（下記参照）

- 国土交通省推計による、
全国における「直接寄与型」※の関係人口：約**628万人**

※ 産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等

出典：「関係人口の実態把握（国土交通省、令和3年3月）」

<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/content/001391466.pdf>

【国交省における関係人口の定義】

●訪問系

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人

●非訪問系

ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン活用

国交省における関係人口の分類		推計値
訪問系	直接寄与型（まちおこしの支援など）	約628万人
	就労型【現地就労】（地元企業での労働など）	約109万人
	就労型【テレワーク】	約182万人
	参加・交流型（イベント参加など）	約406万人
	趣味・消費型（地域での飲食や趣味活動など）	約500万人
非訪問系（地場産品等購入など）	約251万人	
地縁・血縁的な訪問者		約521万人
推計値合計		約2,600万人

場面2 企業・団体の課題解決

潜在的な関係人口の規模感：およそ**300万人**程度（下記①+②）

- 国土交通省推計による、
①全国の「就労型（現地就労）」※の関係人口：約**109万人**

※ 地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林 漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）

- ②全国の「就労型（テレワーク）」※の関係人口：約**182万人**

※ 本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）

出典：「関係人口の実態把握（国土交通省、令和3年3月）」

<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/content/001391466.pdf>

場面3 地域の伝統行事やイベント

潜在的な関係人口の規模感：およそ**400万人**程度（下記参照）

- 国土交通省推計による、
全国における「参加・交流型」※の関係人口：約**406万人**

※ 地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加

出典：「関係人口の実態把握（国土交通省、令和3年3月）」

<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/content/001391466.pdf>

5

場面4 ワークেশョン

潜在的な関係人口の規模感：およそ**280万人**程度（下記参照）

- 全国におけるワークেশョンの経験者数：約**280万人**

※ 就業者人口6,750万人（R6.4）に、観光庁の「今年度事業の結果報告（令和4年3月）」におけるアンケート調査の「従業員のワークেশョン経験率」4.2%を乗じて算出

出典：・「労働力調査令和6年4月分結果（総務省統計局）」

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/index.html>

・「今年度事業の結果報告（観光庁、令和4年3月17日）」

https://www.mlit.go.jp/kankocho/seisaku_seido/kihonkeikaku/kokunaikoryu/kaitaku/workation/content/001477419.pdf

6

場面5 バケーション

潜在的な関係人口の規模感：およそ**480万人**程度（下記①+②）

①日本人の国内旅行者約5億人（2023年）のうち、「観光・レクリエーション」を目的として6泊以上宿泊した者の数：約**245万人**

※ 一般社団法人ロングステイ財団による「ロングステイ」の定義「国内においては、主たる生活の拠点のほかに、日本国内の他の地域で比較的長く（1週間以上）あるいは繰り返し滞在し、その滞在地域の文化慣習を遵守しつつ地域文化とのふれあいや住民との交流を深めながら滞在するライフスタイル」を参考に、宿泊が6泊以上の者の数を採用

出典：一般社団法人ロングステイ財団ウェブサイト

<https://www.longstay.or.jp/longstay/>

・「旅行・観光消費動向調査（観光庁）」

https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shohidoko.html

②訪日外国人約2,500万人（2023年）のうち、「観光・レジャー」を目的とした滞在期間が2週間以上の者の割合：9.1%（=約**230万人**）

※ 一般社団法人ロングステイ財団による「ロングステイ」の定義「海外においては、生活の源泉を日本に置きながら海外の1ヶ所に比較的長く滞在し（2週間以上）、その国の文化や生活に触れ、国際親善に寄与する海外滞在型余暇の総称」を参考に、滞在期間が2週間以上の者の割合を採用

出典：一般社団法人ロングステイ財団ウェブサイト

<https://www.longstay.or.jp/longstay/>

・「日本の観光旅行データ（JNTO）」

<https://statistics.jnto.go.jp/>

場面6 バーチャル（県産品の購入・デジタルコミュニティ）

潜在的な関係人口の規模感：**数千万人**（下記参照）

●東京都内に所在する独立店舗の自治体アンテナショップ

62店舗の年間利用者数の合計：800万～1800万人（2022年度）

※ 一般社団法人地域活性化センターによる自治体アンテナショップ実態調査のうち、「年間入館者数別店舗数」の人数の合計により、推計

出典：「令和5年度自治体アンテナショップ実態調査報告書（一般社団法人地域活性化センター）」

<https://www.jcrd.jp/publications/antennashop/>